

## ▼ソランタール錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】チアラミド塩酸塩 Tiamide Hydrochloride 【分類】鎮痛抗炎症剤

【単位】▼50mg・▼100mg/錠

【常用量】200～300mg/日

【用法】分2または分3または頓用

【透析患者への投与方法】常用量 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】腎障害悪化のおそれがあるためできるだけ投与しない (1)

【特徴】5-Chlorobenzothiazolinone 誘導体で塩基性のNSAID.

【主な副作用・毒性】ショック, アナフィラキシー, 食欲不振, 下痢, 便秘, 嘔吐, 口渇, 頭痛, めまい・ふらつき, 不眠, 浮腫, 倦怠感など

【F】ほぼ完全に吸収される (1)

【tmax】0.9hr (1)

【代謝】代謝物として, ヒドロキシエチル基のカルボン酸体 (TRAA) 及びその N-オキシド体 (TRAO), チアラミドの O-グルクロン酸抱合体が同定されており, それぞれ投与量の 34.8%、30.2%、10%が尿中に排泄 (1)

【排泄】尿中排泄はほとんどが代謝物である (1) 尿中未変化体排泄率 1.5% (Noguchi H, et al: Xenobiotica 1982 PMID: 7113257)

【CL/F】56L/hr (1)

【t1/2】1.59hr (1)

【蛋白結合率】47～49% (1)

【Vd/F】1.84L/kg (1)

【MW】392.30

【透析性】資料なし (1) 一部は透析されるが, Vd がやや大きいため効率的には除去できないと思われる (5)

【O/W 係数】0.05 [1-オクタノール/水系] (1)

【更新日】20241009

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。